

みずほCustomer Desk Report 2025/04/07号 (As of 2025/04/04)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	146.03
TKY 9:00AM	146.25	1.1046	161.66	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	147.42	1.1107	162.00	1.3090	0.6326
SYD-NY Low	144.55	1.0925	159.10	1.3113	0.6332
NY 5:00 PM	146.88	1.0965	160.67	1.2853	0.5987
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,314.86	▲ 2,231.07	日本2年債	0.6100%	▲0.1400%
NASDAQ	15,587.79	▲ 962.82	日本10年債	1.1600%	▲0.1800%
S&P	5,074.08	▲ 322.44	米国2年債	3.6407%	▲0.0512%
日経平均	33,780.58	▲ 955.35	米国5年債	3.7045%	▲0.0315%
TOPIX	2,482.06	▲ 86.55	米国10年債	3.9990%	▲0.0371%
シカゴ日経先物	32,345.00	▲ 1,655.00	独10年債	2.5695%	▲0.0710%
ロンドンFT	8,054.98	▲ 419.76	英10年債	4.4450%	▲0.0775%
DAX	20,641.72	▲ 1,075.67	豪10年債	4.1760%	▲0.0740%
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	13.07%	0.78%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	11.82%	0.51%
NY金	3,035.40	▲ 86.30	USDJPY 6M Vol	11.07%	0.26%
WTI	61.99	▲ 4.96	USDJPY 1M 25RR	▲2.32%	Yen Call Over
CRB指数	288.46	▲ 15.08	EURJPY 3M Vol	11.86%	0.43%
ドルインデックス	103.02	0.95	EURJPY 6M Vol	11.24%	0.19%

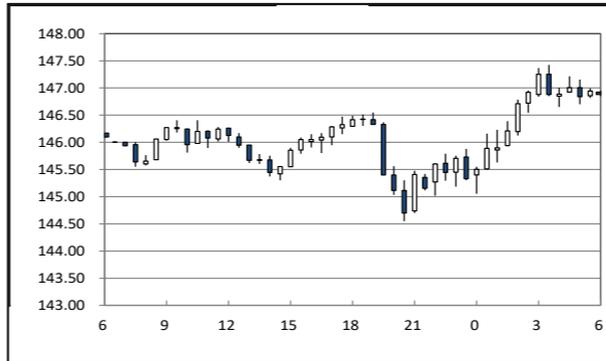
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月4日	15:00	独 製造業受注(前月比)	2月 0.0%	3.4%
	15:45	仏 鉱工業生産(前月比/前年比)	2月 0.7%/-0.4%	0.5%/-1.3%
	15:45	仏 製造業生産(前月比/前年比)	2月 1.4%/-1.2%	-
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	3月 228k	140k
	21:30	米 失業率	3月 4.2%	4.1%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	3月 0.3%/3.8%	0.3%/4.0%
4月5日	00:25	米 パウエルFRB議長 講演	「金融政策の適切な方向性の結論を出すには時期尚早」	

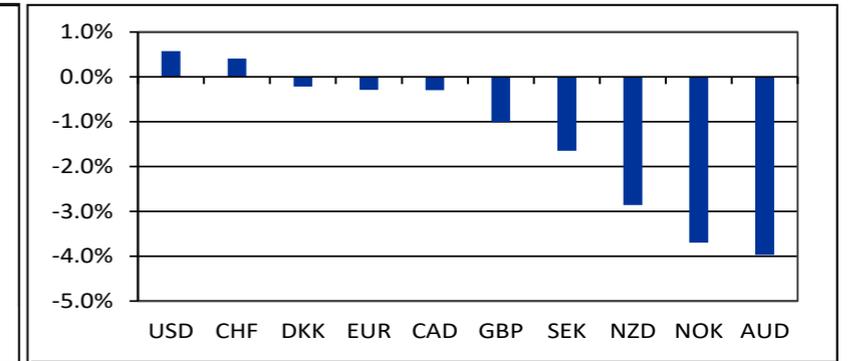
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月7日	14:00	日 景気一致指数・速報	2月 116.7	116.1
	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	2月 -1.0%	2.0%
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	2月 0.5%	-0.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	143.00-146.00	1.0900-1.1050	156.50-161.50

【マーケット・インプレッション】

金曜日のNY時間で発表された雇用統計のヘッドラインは予想より強かったが、過去のデータが下方修正されたことで為替市場の反応は大きくはなかった。その後パウエル議長が関税の影響をある程度認めつつも、拙速な利下げを否定したことでドル買いを誘発。ドル円もショートカバーとみられる動きで147.42円をマークした。

ただ、先週末に発表された中国の報復関税のニュースを受けドル円はギャップダウンしてアジア時間を迎えている。今後も引き続き貿易戦争のヘッドラインに振り回される展開と見られ、市場が織り込み切れていないこのテーマを消化するまでは目線が定まらない。実需としては、米国金利が大きく下げていることでドル円の先足のディスカウントも効きづらくなっており、輸入勢にとっては短期のヘッジの方が有利な環境が足元は続くことを想定する。

東京	東京時間のドル円は146.25レベルでオープン。夜に発表される経済指標を控え午前中にかけては動意乏しく、続落する日経を横目にレンジ推移。しかし午後にかけては株につられて続落し、一時145.30を付けた。その後はやや値を戻し、結局146.05レベルで海外に渡った。
ロンドン	米雇用統計を前にドルが買われた。しかし、中国の報復関税が市場を反転させ、リスクオフのトレード・オフが始まった。株が売られ、円やスイスフランが買われた。米ドル/円は146.05レベルで始まり、一時146.55まで上昇した後、6か月ぶり安値の144.55まで下落し145.36レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、中国の報復関税発表を受けたリスク回避の動きに、上値重くスタートするが、3月非農業部門雇用者数変化が予想を上回り、パウエル議長の予想以上の関税はインフレを増大させ成長を鈍化させるとの発言もあり、一時年内4.6回まで織り込まれていた利下げが期待が4回を切る展開に、ドル買いが優勢となり、急速に147.42まで戻し146.88レベルでクロスした。ユーロドルは、リスク回避のユーロ円の売りに連れて上値重くスタート。その後ドルが買い戻される展開に1.0925まで反落し、1.0965レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。